

# 自動車アセスメントロードマップ改定案

---

令和8年3月16日  
国土交通省物流局・自動車局  
技術・環境政策課

# 自動車アセスメントロードマップ2026（案）

自動車アセスメントロードマップ2026（案）※1.2

			2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度～※6
より安全な自動車の普及対策	予防安全性評価	衝突被害軽減ブレーキ	対歩行者：昼間						
			対歩行者：夜間（街灯あり・街灯なし）						
			対自転車						
			交差点 1：対車両（右直）						
			交差点 2：右左折時の横断歩行者						
			交差点 3：対車両（出会い頭）	予備試験					
			交差点 4：対二輪（右直）	予備試験					
		後退時歩行者	実施可能時期・技術の妥当性を確認（他の技術との関係を整理）						
		対対向車							
		V2X	試験・評価方法検討						
	高機能走行用前照灯								
	ペダル踏み間違い時加速抑制装置	走行中※3	試験・評価方法検討						
	車線逸脱警報装置・車線逸脱抑制装置								
	ドライバーモニタリングシステム	調査・研究	試験・評価方法検討	予備試験					
	先読み運転（リスク低減運転支援）	調査・研究	試験・評価方法検討	予備試験					
	新規追加	・ドライバー異常時対応システム 等	新規追加項目検討						
	効率化・廃止検討		効率化・廃止検討		効率化・廃止検討		効率化・廃止検討		効率化・廃止検討
	衝突安全性評価	乗員保護	前面（フルラップ）						
			前面（新オフセット）	台車重量増加・バリア変更	調査・研究	試験・評価方法検討	予備試験		
			側面	評価改善	調査・研究	試験・評価方法検討	予備試験		
後面頭部保護									
助手席・後席シートベルトリマインダ									
歩行者保護		頭部	頭部保護対策の強化	試験・評価方法検討	予備試験				
		脚部							
バーチャルテスト※6		調査・研究							
新規追加		・ファーサイド衝突 等	新規追加項目検討						
効率化・廃止検討			効率化・廃止検討		効率化・廃止検討		効率化・廃止検討		効率化・廃止検討
事故後被害軽減性能評価	事故後自動緊急通報装置	次世代	後席対応	予備試験					
			交通弱者対応	検証					
	その他事故後被害軽減技術（レスキューシート、ERG※4など）	調査・研究	試験・評価方法検討	予備試験					
情報提供	車内こども置き去り防止支援装置								
	交通標識認識システム（TSR）								
	新オフセット前面衝突（後席Q6・Q10ダミー）	予備試験							
	側面衝突（後席Q10ダミー）	情報提供方法検討		予備試験					
	ペダル踏み間違い時加速抑制装置（走行中：障害物検知なし）		情報提供方法検討						
自動運転を見据えた運転支援技術	調査・研究・情報提供方法検討、予備試験								
より安全な新車の普及対策	予防安全性評価	新規追加	・衝突被害軽減ブレーキ ・車線逸脱抑制装置 ・ドライバー異常時対応システム 等	導入効果検証	調査・研究	試験・評価方法検討	予備試験		
より安全なCRSの普及対策	CRS安全性評価	前面衝突時安全性	R129対応	試験・評価方法検討	予備試験				
		側面衝突時安全性	学童用	試験・評価方法検討					
	使用性								
啓発	普及方針の検討								

※1 文字色 赤字：前回ロードマップに追記、または変更したものの、セル色 水色は新規試験項目の調査・研究等、緑色：評価（実施済、実施予定、変更予定を含む）、白：未対応 ※2 適宜見直しを行うため変更があり得る ※3 法規の動向を踏まえて検討  
 ※4 Emergency Rescue Guide ※5 技術の普及状況や検討状況をふまえて評価開始時期を検討するものとする ※6 調査・研究の結果から導入効果を確認のうえ、実施内容を検討する

# 主な改定内容（予防安全性性能評価）

## ペダル踏み間違い時加速抑制装置

追加

- 試験・評価方法を検討していたペダル踏み間違い時加速抑制装置（走行中）のうち、障害物検知ありの装置については現時点ではAEBSの作動との区別ができないことから、まずは障害物検知なしの装置について2027年度より情報提供を開始することとする。
- 障害物検知あり・なしに関わらず、走行中条件下での試験・評価方法について、技術開発の動向も踏まえつつ引き続き検討を行う。

		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度～
予防安全	ペダル踏み間違い時加速抑制装置 走行中 <sup>※3</sup>	試験・評価方法検討		予備試験				

		2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度～ <sup>※5</sup>
予防安全	ペダル踏み間違い時加速抑制装置 走行中 <sup>※3</sup>	試験・評価方法検討						
情報提供	ペダル踏み間違い時加速抑制装置 (走行中:障害物検知なし)		情報提供方法検討					

※3 法規の動向を踏まえて検討

※5 技術の普及状況や検討状況をふまえ評価開始時期を検討するものとする

## 自動運転を見据えた運転支援技術

追加

- 将来的に市場投入が見込まれる「自動運転を見据えた運転支援技術」を新規項目として追加し、2028年度より情報提供を開始することとする。

		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度～
予防安全	新規追加 ・ドライバー異常時対応システム ・自動運転を見据えた運転支援技術 等	新規追加項目検討			調査・研究	試験・評価方法検討	予備試験	

		2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度～ <sup>※5</sup>
予防安全	新規追加 ・ドライバー異常時対応システム 等	新規追加項目検討						
情報提供	自動運転を見据えた運転支援技術		調査・研究、情報提供方法検討、予備試験					

# 主な改定内容（CRS安全性能評価）

## バーチャルテスト

追加

- 多面的評価や試験の効率化を見据えた「バーチャルテスト」を新規項目として追加することとする。

		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度～
新規追加	・ファーサイド側突 ・バーチャルテスト 等	新規追加項目検討			調査・研究	試験・評価 方法検討	予備試験	

		2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度～ <sup>※5</sup>
新規追加	・ファーサイド側突 等	新規追加項目検討						
	バーチャルテスト <sup>※7</sup>		調査・研究					

※5 技術の普及状況や検討状況をふまえ評価開始時期を検討するものとする

※7 調査・研究の結果から導入効果を確認のうえ、実施内容を検討する

## CRS評価側面衝突時安全性能

追加

- CRS評価の側面衝突時安全性能において、「学童用」CRSを新規項目として追加することとし、2028年度より評価を開始することとする。

		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度～
CRS評価	側面衝突時安全性能	試験・評価 方法検討	予備試験					

		2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度～
CRS評価	側面衝突時 安全性能	予備試験						
	学童用		試験・評価方法検討					

# 【参考】自動車アセスメントロードマップ2025

自動車アセスメントロードマップ2025※1,2

		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度～	
より安全な自動車の普及対策	予防安全性性能評価	衝突被害軽減ブレーキ	対歩行者:昼間						
			対歩行者:夜間(街灯あり・街灯なし)	評価効率化適用					
			対自転車						
			交差点 1: 対車両(右直)	評価内容検討(衝突ポイント)					
			交差点 2: 右左折時の横断歩行者						
			交差点 3: 対車両(出会い頭)	試験・評価方法検討	予備試験				
			交差点 4: 対二輪(右直)	試験・評価方法検討	予備試験				
		後退時歩行者	実施可能時期・技術の妥当性を確認(他の技術との関係を整理)						
		対対向車							
		V2X	ユースケースの検討(V2N、V2I、V2V等)	試験・評価方法検討					
	高機能走行用前照灯								
	ペダル踏み間違い時加速抑制装置	走行中※3	試験・評価方法検討		予備試験				
	車線逸脱警報装置・車線逸脱抑制装置								
	ドライバーモニタリングシステム			調査・研究	試験・評価方法検討	予備試験			
	先読み運転(リスク低減運転支援)			調査・研究	試験・評価方法検討	予備試験			
	新規追加	ドライバー異常時対応システム・自動運転を見据えた運転支援技術等	新規追加項目検討			調査・研究	試験・評価方法検討	予備試験	
	効率化・廃止検討			効率化・廃止検討	効率化・廃止検討		効率化・廃止検討	効率化・廃止検討	
	衝突安全性性能評価	乗員保護	前面(フルラップ)						
			前面(新オフセット)	台車重量増加・バリア変更	調査・研究		試験・評価方法検討	予備試験	
			側面	評価改善	調査・研究		試験・評価方法検討	予備試験	
後面顔部保護									
助手席・後席シートベルトリマインダ									
歩行者保護		頭部	頭部保護対策の強化	試験・評価方法検討		予備試験			
		脚部							
新規追加		・ファアースイド衝突・バーチャルテスト等	新規追加項目検討			調査・研究	試験・評価方法検討	予備試験	
効率化・廃止検討				効率化・廃止検討	効率化・廃止検討		効率化・廃止検討	効率化・廃止検討	
事故後被害軽減性能評価		事故自動緊急通報装置	次世代	後席対応	試験・評価方法検討	予備試験			
			交通弱者対応	検証					
	その他事故後被害軽減技術(レスキューシート、ERG※4など)	新規追加項目検討	調査・研究	試験・評価方法検討	予備試験				
情報提供	車内こども置き去り防止支援装置								
	交通標識認識システム(TSR)								
	新オフセット前面衝突(後席Q6・Q10ダミー)	情報提供方法検討	予備試験						
	側面衝突(後席Q10ダミー)	情報提供方法検討			予備試験				
より安全な車両の普及対策	予防安全性性能評価	新規追加	・衝突被害軽減ブレーキ・車線逸脱抑制装置・ドライバー異常時対応システム等	導入効果検証	調査・研究	試験・評価方法検討	予備試験		
より安全なCRSの普及対策	CRS安全性性能評価	前面衝突時安全性	R129対応	試験・評価方法検討	試験・評価方法検討 予備試験				
		側面衝突時安全性		試験・評価方法検討	予備試験				
	啓発	使用性							
	啓発	普及方針の検討							

※1 文字色 赤字: 前回ロードマップに追記、または変更したもの。セル色 水色: は新規試験項目の調査・研究等、緑色: 評価(実施済、実施予定、変更予定を含む)、白: 未対応 ※2 適宜見直しを行うため変更があり得る ※3 法規の動向を踏まえて検討  
 ※4 Emergency Rescue Guide ※※ 上記のロードマップの変更とともに責任点のあり方について検討を行うものとする ※※※ 各評価項目のシミュレーションによる評価の可能性について検討を行うものとする